

12-9-2

4

四回

不正九年九月廿五種認可
電通特三

九二
日本電報

◎本社通信部活動

▽自動車編輯隊組織

東京本社昨夜遂ニ遭難光永本社長自
動車編輯隊ヲ組織シ百餘名記者ヲ
督シ或ハ輕井澤又ハ長野静岡ノ諸所
面ヨリ無線電信ト連絡ヲ採リ死力ヲ
盡シテ詳報ニ努メ居リ。

(長野午後三時発)

大正七年九月五日

電通社

日東電報

浦沿一方迄無一人等火ノ梅ノ
カ行ノ任云々ノ外ナク既ニ燒失

又連絡ノ

ノ高橋御殿

ノ宇野院ノ一部

ノ帝室林造管理局

ノ帝國大學

ノ内務省

ノ院務室

ノ警視廳

ノ高神大學

ノ共立女子職業学校

ノ帝國劇場

ノ有樂堂

ノ砲台工廠

555

大正九年九月三日

日本電報

電通社急一〇二

八目黒火災、東京、又火災、東京

八東京、東京、神、匠、名、校

八東京、東京、到、学校

八日本電氣、東京、会社

八東京、橋、区内、各、新聞、社、(朝日、国)

民、萬、朝、中、央、時、事、

讀、賣、愛、通、業、ア、リ

八浅草、十、階

其他、銀行、会社、高、地、民、安、無

八東京、二十、萬、戸、及、び、段、々、灰、土、歸

ニ、ア、リ

殊、神、田、方、面、丸、内、鐵、道、掛、多

八、不、面、日、本、橋、火、災、火、災、火、災

八、城、戸、火、災、火、災、火、災、火、災

〇〇〇〇

物積の出立状況目々アテニス

(110年給三時十五分着)

○東京市之取入

海上ビルヂング倒壊

東京市中之巨り取入之布カ

普通入ハ一歩上電元東京市内之

レド食糧品ヲ獲取シタルノ外

ハ之レヲ許サズ海上ビルヂング

亦倒壊ヤリ軒柱不明トセル

ビルヂングノ人々ニシテ萬人以上アリ

東京駅頭ハ四、五ノ人除ク外

全滅ス

(二日午後三時十五分着)

在九年九月一日禮拜可

電通

日之本電報

◎各新聞社の健全度

日健五五八東京の〇〇〇〇

東京一市内〇〇〇〇新聞社の僅力

〇有東京〇〇〇〇

東京〇〇新聞社〇〇〇〇

朝日新聞、〇時事新報、〇

中央新聞、〇中央新聞、〇

後援新聞、〇朝報、〇六

新聞、〇新聞、〇新聞、

〇新聞、〇新聞、〇新聞、

〇新聞、〇新聞、〇新聞、

軍令部、〇新聞、

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

電通紙一七

日本電報

○攝政宮御無事

攝政宮殿下ハ御無事ニ御覽
所ニ在リ也云々 兩陛下ノ御安否
ヲ安否也云々云々

(年日三時五十分)

○付子〇〇〇〇〇〇〇〇

大段高船合我ハ三日神戸奔揚
此ハ付子〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
五中暇ヲ款般也云々云々

(年日三時五十分)

大正九年九月三日 福認可

獨通

九二
日本電報

◎三井物産全減

三井物産本社八全減入

(午後五時五十分下着)

◎神戸鉄道局ノ救援

神戸鉄道局ニハ鉄道員保ノ

過難民救護ノ文ノ的ニテ急々東

第一區ニトテ

(午後五時五十分下着)

◎飛行機ノ結末

今旦尾倉ノ文ノ東ノ事機也

一被害甚大ニ電信、電話不

通ニテ海軍ノ航機ノ得ルヤ否

後岸敗也

三三

本邦身習習多様認可
電通伝一丸

2.2.
日本電報

給子計ん又又飛舟機二台り東
洋之向ケ出勤也も又各り遠力
3.2. 莫り相利明るべし

(午也三時五十分一稿)